

令和 5 年 9 月 30 日
日本工学院専門学校

学校関係者評価結果

本年度においては 9 月に学校関係者評価委員会議を実施した。委員会の中で本校の行った令和 4 年度の自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。評価委員からの主な発言は次のとおりである。

- ・新しい学科の新設にも期待しております。
- ・建学の精神・教育方針・教育目標ともに素晴らしいものです。移り行く時代に合わせた目標となっているように見受けられます。
- ・学生の方々の行動が学校の印象となると思いますので、行動指針の策定、徹底を進めていただければと思います。
- ・教育理念を元に、時代に即した学校運営が行われています。
- ・スポーツフェスティバルなどの行事を積極的に行い、日常の授業以外においても、学生の成長のために創意工夫を図っています。
- ・充実した教育プログラム等が高い就職率、少ない退学率につながっていると思います。
- ・本授業のみならず、部活動などにもより支援をしていただければ、学生生活もさらに充実すると思います。
- ・留学生への支援を積極的に行うなど、様々な取り組みを行っています。
- ・保護者との連携、校友会の活性化など学生への支援は十分に行われています。
- ・ヘルスサポート面では社会全体の問題ですが、学園では大変良い対応をしていると思います。
- ・より優れた施設、設備を設けられており、学生にとって恵まれた環境だと思います。
学園全体の教育環境は大変良いと思います。
- ・社会情勢をふまえ、学生・教員ともに ICT 環境の充実、Web 面談室の設置等の環境整備を図り、ハード面から授業の充実に努めています。
- ・テクノロジーカレッジの入学者減少に対しても、課題を捉え、解決に向け、取り組まれています。また、募集活動は適正に行われています。
- ・数年間にわたり、安定した学生数を確保しており、収支状況においても安定しているものと思われる。
- ・大田区と当会の事業にご協力いただきありがとうございます。(産業のまち発見隊)
本委員会にもあてはまりますが、ゲーム・テクノロジー・テレビ、大田工業連合・教育関係等の様々な分野と連携し、地域貢献・社会貢献を十分に果たしています。

- ・大田区蒲田にこのような素晴らしい専門学校があり、規律正しい学生の方々が生活されていることで、蒲田の雰囲気にも変化を感じます。
- ・コロナ禍を乗り越え、常に新しい発想を取り入れ実行に移していく姿勢には頭が下がります。
- ・今後、若者が減少していく中で、学校運営は大変な時期を迎えていますが、大学進学が当たり前になりつつありながらも専門性を身につけられる専門学校は即戦力として企業で必要とされる人材を育てていると思います。多様な学生一人一人に向き合い、取りこぼさない工夫や体制作りなど、これからも弱い立場の方への目くばせをお願いします。
- ・多岐にわたり、安定かつ時代に沿った学校運営を行っています。
- ・ジェンダー問題に対しては、多目的トイレの設置や様々な事例を検証し対応するなど真摯に対応しています。また、ヘルスサポートセンターを充実させ、心身ともに学生の健康面をサポートしています。
- ・かまた祭などにおいては近隣にある高校のマーチングバンド部との交流、学習面においては高校の IT 関連コースへの出張授業を行うなど「高専連携」も十分に図れています。大田区の企業、地域団体とも積極的に交流を図っており、「地域貢献」も十分行えています。
- ・国際交流サロンをリニューアルするなど、留学生へのフォローも行えています。

自己評価についてすべてこれらの通りであり納得した、この内容にて了承する。

以上

令和5年9月30日

日本工学院専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 桂田 忠明 様

日本工学院専門学校
校長 山野 大星

令和4年度の学校関係者評価委員会において討議された内容をふまえ、以下について検討していきます。

1. 社会のニーズに対応するため、新設学科の検討を行う。
2. コロナの制限が緩和され、これまで来ていない国からの留学生が増加すると予想されるため、国際交流サロンのサポート体制の充実を図っていく。
3. 第一志望の学校に選ばれるため、引き続き学生満足調査を実施し、問題点の洗い出しを行い、満足度の向上に努めていく。
4. ジェンダーやその他多様な相談に応えるため、ヘルスサポートセンタースタッフの研修等を行い、よりきめ細かな対応を充実させていく。
5. コロナが5類に分類されたことに伴い、部活動等の活動を再開し、積極的にその支援を行う。

以上